

公立小野町地方総合病院情報

町では小野町第三次振興計画後期計画や平成17年度町重点施策による、「公立小野町地方総合病院の支援」を掲げています。6回シリーズで町民の皆さんの理解を深めていただくため、地域の生活基盤に重要な役割を果たしている総合病院についてご紹介しましたが、今回が最終回となりました。

町民の皆様へ

院長 村井 隆夫

こんにちは、今月で広報への病院紹介は終わりますが、当病院は小野町が約7割を出資して近隣の市町村と協力しつつ運営をしている公的な施設であり、50年前に先代の人々達が当地方の貧しかった医療を改善する目的で大変な努力を払って建設し、維持されてきた歴史のある病院です。

現在では診療科も医師の数も不足してはいますが診療にあたっては医師はこれまで広報のまちで紹介させていただいたように、大きな病院で訓練を積み、中堅の医師として地域医療に邁進しています。地域住民の方が地元の病院を信頼、利用することが勤務している医師の励みとなり、また病院が発展・存続することに結び付きますのでよろしくご支援をお願いします。

訪問看護ステーション

こまちの里紹介

所長 石井 良子

訪問看護ステーションこまちの里では、看護師4名、事務員1名で運営されています。訪問看護は、病気や障害などによって、家庭において寝たきりまたは、これに準ずる状態にあり、主治医（かかりつけの医師）が訪問看護の必要性を認めた方々に看護サービスを提供し、安心して療養できるように、本人、家族を支援していく仕事です。訪問看護は、介護保険、医療保険どちらでもご利用が出来ます。おもなサービス内容として、病状、障害の観察、よくそこの予防、処置、清潔の保持、体位の交換、カテーテル等の管理、リハビリテーション、家族の健康管理と介護指導などです。24時間緊急時訪問看護体制を取り必要な方には、早急に対応できるようにして、安心して自宅暮らしができるように支

援しています。お申込みは、訪問看護ステーションまたは、主治医やケアマネージャーにご相談下さい。

総合相談窓口より

総合相談窓口は、平成10年度に国民健康保険の保険事業として患者様やそのご家族様、地域住民の方々の保健・医療・福祉等の総合的な相談について、個別に指導する場所として開設いたしました。

平成15年度から一階薬局前に移設し地域連携室と併設することにより、病院の診療時間に合わせて随時相談を受け付けることが出来るようになりました。また、平成16年度から専門スタッフによる相談を取り入れ、毎週月曜日は薬剤師が薬についての質問や予備知識、毎週火曜日は栄養士が食物栄養の基礎、カロリー計算方法、ダイエットなどの相談に、毎週水曜日は看護師が在宅における介護方法や家庭での急な発病やケガの対処方法についてそれぞれに午後1時から5時まで個別に感じさせていただけます。

法で、少しでも相談内容解決のお手伝いをさせていただきたく。相談内容や個人・家族等の秘密は厳守しますので、お気軽にご相談下さい。

診療科目紹介

整形外科・リウマチ科

郡司 直哉

地域に密着した、整形外科・リウマチ科として週2回の外来診療を行っています。関節リウマチ、骨粗しょう症を中心に、整形外科全般にわたる診療を行っており、地域上、腰痛、頸部痛、肩・膝関節に関節痛をきたす慢性疾患の患者様がきわめて多いのが特色です。

治療は、薬剤や関節注射、各種ブロック療法を含めた注射療法その他に運動療法、装具療法を行っています。関節リウマチは慢性進行性の全身疾患で、長期間にわたり外来通院している患者様が多く、外来では抗リウマチ薬をはじめとした薬物療法を中心に、治療を行っています。骨粗しょう症は、骨塩量測定装置を有し、薬剤療法のみならず食事療法、運動療法の3つの柱で治療を行っています。当院では手術、精密検査が必要な場合は速やかに連携病院に紹介を行っており、患者様や医師がお互いに納得して信頼できるように常に心掛け診療を行っています。

医療機器紹介

X線骨密度測定装置

わが国においては人口の急速な高齢化に伴い、骨粗しょう症の患者が年々増加しつつあります。骨粗しょう症では脊椎、前腕骨、大腿骨頸部の骨折が生じやすく、そのための対策が医療のみならず社会的にも重要な課題となっています。当院ではより精度が高く、質の高い骨粗しょう症診療が可能となる装置を用意し、10月下旬よりスタートしました。従来法と異なり、大腿骨、腰椎で測定し、測定終了後即座に検査結果を算出します。定期的に、測定することでよりきめ細かなコントロール治療が可能となりました。骨量に不安を抱えている方は一度お試し下さい。



◆問い合わせ 公立小野町地方総合病院 ☎72-3181